

宮澤賢治劇場
第二回公演

宮澤賢治の
詩と音楽により
生涯をたどる

宮澤賢治は全く新しい詩人でした。
豊かな音楽性と演劇性とともに
賢治の詩を立体化し、
賢治の生涯をたどります。

原作 宮澤賢治
構成・演出 笠井賢一
出演 赤坂真理 石橋敬子
梅澤泰子 笠井賢一
平山八重 本庄由佳
前田恵美 松井大典
宮坂公子 八田部鉄
音楽 設楽瞬山 橋 政愛

美術 藤井克彦
衣装 細田ひな子

制作 アトリエ花習 鈴木絹子

- 1896 誕生 8月27日 宮澤政次郎・イチ長男
- 明治 29 6月15日 三陸大津波
- 1903 花巻川口尋常小学校
- 明治 36 8月31日 陸羽大地震
- 1909 岩手県立盛岡中学校
- 明治 42 山歩き鉱物採集、星座に熱中
- 1915 盛岡高等農林学校 土壤学
- 大正 7 徴兵検査第二乙種合格(兵役免除)
- 1918 『蜘蛛となめくじと狸』『双子の星』
- 不本意ながら家業を手伝う
- 1920 日蓮宗国柱会入信
- 大正 10 国柱会で高知尾智耀に説得され
- 『龍と詩人』『鹿踊りのはじまり』
- 1922 種賢郡立稗農学校(花巻農学校)教員
- 大正 11 『水仙月の四日』『春と修羅』『原体剣舞連』
- 『水仙月の四日』『春と修羅』『原体剣舞連』
- 1924 『永訣の朝』『松の針』『無声慟哭』
- 大正 13 『心象スケッチ 春と修羅』刊行
- 1925 『イーハトヴ童話 注文の多い料理店』刊行
- 大正 15 『告別』 「来春はやめてもう本統の百姓になります」
- 1926 花巻農学校 依願退職 宮澤家の別邸で独居自炊生活
- 大正 15 農業や肥料の講習 稲作指導に奔走
- 1927 羅須地人協会 『農民芸術概論綱要』
- 昭和 2 羅須地人協会の活動盛、岩手日報で報道される
- 花巻温泉花壇の設計 天候不順
- 肥料設計書二千枚以上書く
- 1928 『稲作挿話』『もうはたらくな』『生徒諸君に寄せる』
- 昭和 3 干ばつによる不作で奔走
- 発熱し四十日ほど病臥 急性肺炎
- この頃から『疾中』(1928-1930)
- 一連の自らの病と死を凝視した詩
- 『丁丁丁丁』『風がおもてで呼んでいる』
- 『眼にていう』『夜』など
- 1930 病状やや回復 東北砕石工場訪問
- 昭和 6 『雨ニモマケズ』 無理な出張を重ね東京で発病 遺書を書く
- 1931 ほとんど病臥の日々 肥料設計は続ける
- 昭和 7 「病める修羅 宮澤賢治を訪ねて」の記事 岩手日報
- 1932 「病める修羅 宮澤賢治を訪ねて」の記事 岩手日報
- 昭和 8 3月3日 昭和三陸地震
- 『文語詩稿』の推敲完了
- 9月19日 神社祭礼の神輿還御を門前で拝む
- 9月21日 咯血
- 「南無妙法蓮華經」と唱題
- 躰を拭いてもらい「あぁいい気持ちだ」
- 死去 年齢満37歳

1月18日(土) 14時~/18時~

六本木ストライプハウスギャラリーB1

港区六本木5-10-33 TEL:03-3405-8108 <http://striped-house.com/>

入場料 3000円/通し券 5000円

第二回公演(1月18日)と
第三回公演(2月15日/16日) 双方を鑑賞いただけます

お問い合わせ/ご予約 アトリエ花習:電話090-9676-3798

宮澤賢治劇場 第二回公演 笠井賢一

昨年宮澤賢治劇場立ち上げ2回の出前公演を経て、
2020年1月18日第二回宮澤賢治劇場『宮澤賢治の詩と音楽により生涯をたどる』と
2月15日・16日第三回宮澤賢治劇場『鹿踊りのはじまり』と『水仙月の四日』の公演を催します。
この二つの公演は連動しています。

宮澤賢治は詩人・童話作家・劇作家・作曲家でした。

賢治の世界には、動物も植物も人間もあらゆる生物が自然の営みの中で
残酷で滑稽なまでの生と死を循環させている、

という生命観と生態への眼差しがあり、その果てに立ち現れる笑と、捨て身の祈りがあります。

賢治劇場の立ち上げに書いたように、混迷する危機の時代に世界を照らす力と鍵は、

豊穣な自然と共生し、生物の眼差しを自らの命に取り込むことができ、それを表現する方言の

力を持っている東北の花巻の宮澤賢治と、九州水俣の石牟礼道子が双璧だと思っています。

これからも賢治という多面体・曼荼羅世界と、石牟礼道子作品とを両輪のように上演していきます。

またご要望があればいつでも出前公演も致します。

心象のはひいろはがねから／あけびのつるはくもにからまり
のばらのやぶや腐植の湿地いちめんのいちめんの詔曲模様／
(正午の管業よりもしげく／琥珀のかけらがそそぐとき)

いかりのながさまた青さ／四月の気層のひかりの底を／
唾しはぎしりゆききする／おれはひとりりの修羅なのだ

風がうたひ雲が応じ波が鳴らすそのうたをただちにうたふスールダッタ
星がそうなるうと思ひ 陸地がさういう形をとらうと覚悟する
あしたの世界に叶ふべきまことと美との模型をつくり やがては世界を
これにかなわしむる予言者、設計者スールダッタ 宮澤賢治「龍と詩人」より



宮澤賢治の 詩と音楽により 生涯をたどる

笠井賢一 が演出した「宮澤賢治作品」

- 1985 千葉 森の劇場 「蛙の消滅」
出演 東の宮美智子(横浜ポートシアター)
- 1991 渋谷 ジアンジャン 宮澤賢治の童話によるKENJI BIOLOGY「なまねこなまねこ」
出演 石田幸雄(和泉流狂言)・東の宮美智子(横浜ポートシアター)
美術 藤井克彦
- 1992 青山 こどもの城 5days 「なまねこなまねこ一狸のじゅもん」
出演 石田幸雄(和泉流狂言)・東の宮美智子 美術 藤井克彦
- 1992 千葉 森の劇場 「森のエッセイ-宮澤賢治とリコーダー」
出演 東の宮美智子 オマタタツロー(リコーダー)
- 1996 花巻 なはんプラザホール 鏡之巫の会・花巻市教育委員会と共催
「賢治ワンダーランド-詩と童話と音楽と絵による…」
出演 八世 観世鏡之巫(能楽師・人間国宝)・観世葉子
音楽 橋政愛(パーカッション)・大久保薫(笙) 絵 藤井克彦
- 1996 千葉 真福寺 野外劇「セロ弾きのゴーシュ」
出演 清水寛二他 音楽 田口瑞博(チェロ)
- 1997 東京 シビックホール 2days・大阪 近鉄アート館 2days
「イーハトーブ 白い夢」(『賢治ワンダーランド』改訂版)
出演 八世 観世鏡之巫(能楽師・人間国宝)・観世葉子
音楽 橋政愛(パーカッション)・大久保薫(笙) 美術 藤井克彦
- 2004 東京 芸術大学奏楽堂 邦楽アンサンブル「賢治宇宙曼荼羅」
作曲・演奏・出演 山本邦山(尺八人間国宝)・野村四郎他藝大教授総出演
- 2015 両国 シアターX 能塾公演 音楽劇「賢治曼荼羅」
- 2016 出演 本庄由佳、宇佐美雅司ほか
音楽 橋政愛(パーカッション)・設楽瞬山(尺八・能管)
- 2018 アトリエQ藝術 第一回宮澤賢治劇場「蛙の消滅」「よだかの星」
出演 本庄由佳 音楽 設楽瞬山
- 2019 GinzaOkami 第一回出前公演
新宿ルトリアングル 第二回出前公演

* 六本木駅3番出口より徒歩4分



笠井賢一演出の石牟礼作品

- 2月28日 13時半・18時
石牟礼道子作浄瑠璃芝居
『六道御前』金子あい
成田市スカイタウンホール
- 3月11日 15時・19時
石牟礼道子作『緑亜紀の蝶』
新井純他
青山鏡仙会能舞台

1月18日(土)
14時~/18時~

六本木
ストライプハウス
ギャラリーB1

港区六本木5-10-33
TEL:03-3405-8108
http://striped-house.com/

入場料 3000円
通し券 5000円

第二回公演(1月18日)と
第三回公演(2月15日/16日)
双方を鑑賞いただけます

お問い合わせ/ご予約
アトリエ花習
電話090-9676-3798

連動公演

宮澤賢治劇場 第三回公演 『鹿踊りのはじまり/水仙月の四日』 本庄由佳 一人芝居
2月15日(土)14時~/16日(日)14時~ ストライプハウスギャラリーB1 入場料3000円/通し券5000円